

# 橋3本流れ陸の孤島 宍粟

兵庫県西部と北部を襲った豪雨で10日、宍粟市一高町福知地区が孤立、同日夜までに約80人が救出された。一方、同じ町営住宅の住人ら人がくなくなった佐用町本郷地区では、住民が深い悲嘆に沈んだ。

福知地区では、福知川の橋3本が流れ、集落内の住民と宿泊施設「市立福知深谷休養センター」や旅館の客の115人が孤立。中には乳児3人や妊婦2人もいた。同センターは電気や水道、電話なども断された。県の消防防災ヘリが出動。宍粟市から派遣要請を受けた陸上自衛隊が水位が下がるのを待ち、川に架かった水道管用の鉄骨を渡り、午後8時すぎまでに救助した。



自衛隊員らに助けられ、水管橋を渡って避難する住民。すぐ下の福知川は濁流が逆巻いている＝10日午後5時半ごろ、宍粟市一宮町福知（提供写真）

## 無残奪われた日常

